

飛躍

森町立旭が丘中学校 第3学年
学年通信 第5号
2020年 5月 1日 (金)
文責 太田 雄司

ゴールデンウィークですが・・・

今日から5月です。そして、カレンダー上では、明日から5月6日(水)まで5連休。ゴールデンウィークです。しかし、例年とは全く違う状況でのゴールデンウィークです。3月からの約2か月、満足に学校生活を送ることができず、これから先に対して不安な部分も多いと思いますが、5月11日(月)からは学校生活が再開されます。心機一転、目標に向かってリスタートできるようにするためにも、5連休を含む、ここから10日間の生活はとても重要になってきます。「学校がある日と同じ時間に起床・就寝する。」「学校の日課や時間割と同じ時間帯で学習する。」「1日3食しっかり摂る。」など、規則正しく、落ち着いた生活を送ることが、休校明けの学校生活をよい形で始めることにつながっていきます。御家庭でも見届けをお願いいたします。



「思考停止をしない」

5月11日(月)から学校が再開される予定ですが、その先のことについてまだまだ不透明なことが多いです。「部活動はできるのか?大会は行われるのか?」「行事は予定通りに行われるのか?」など、見通しをもてないと不安になり、何をしてもよいのが分からなくなってしまいます。本来であれば、ゴールデンウィークは、部活動に意欲的に取り組み、最後の大会に向けて活動の質も量も充実させる時期のはずでした。家族旅行を計画していたり、友人と遊ぶ予定があったりしたかもしれません。それらのことも含め、この先の多くのことがどうなるか分からないというのが現状ですが、このような状況下で避けなくてはいけないことは思考を停止してしまうことです。

「『修学旅行は10月に延期する。だから毎年行っていた保育実習は中止にする。』『部活動は行ってはいけない。』『〇〇は規模を縮小して実施する。』といった指示があった。だから『仕方ない。』』という考え方が思考停止と言えるでしょう。残念なことではあったとしても、それらを受け入れた上で「じゃあどうしよう?」ということを考えていくことがとても重要になります。



中学校卒業後に進学しても、さらにその先に社会に出ても、多くの「指示」や「命令」「ルール」に当たります。そんな時に何も考えずに従うのではなく、「どうすればよいか?」「これはどういう意図なのか?」といったことを深く考えた上で、判断できるようになってほしいと思います。学校でも「人に頼らない。」「自分で考え、判断して行動する。」といったことを1年生の頃から生徒たちに伝えてきました。今は、日常生活においても、学校生活においても様々なことが制限・制約されている状況です。だからこそ、その状況の中で何ができるかをしっかりと考えて全力で取り組んでいくことが重要になります。休校が長く続いているこの時期に、何もしない人とできることを見つけて取り組む人とは大きな差が出てしまいます。「人生を創り上げるのは周りの環境ではなく、自らの思考」です。この期間に「できることを見つけて取り組む」ことをしっかりと積み重ねていくことができれば、これまでの学年通信でも何度も書いてきていますが、「休校の期間があったからこそ、成長できた。」と、3月に笑顔で言えるようになると思います。

☆お願い

明日から5連休ではありますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のための休校期間中であり、全都道府県に対して緊急事態宣言が発令されている中での連休です。健康を第一に考え、自宅を過ごすことを基本としていただきたいと思います。また、様々な場面で言われていることですが、「不要不急の外出を避ける」「密閉・密集・密接の3つの密を絶対に避ける」等、休校となっている意義を十分に理解した過ごし方をさせていただきますよう、御協力をお願いいたします。